

令和4年度行政事業レビューシート (国土交通省)

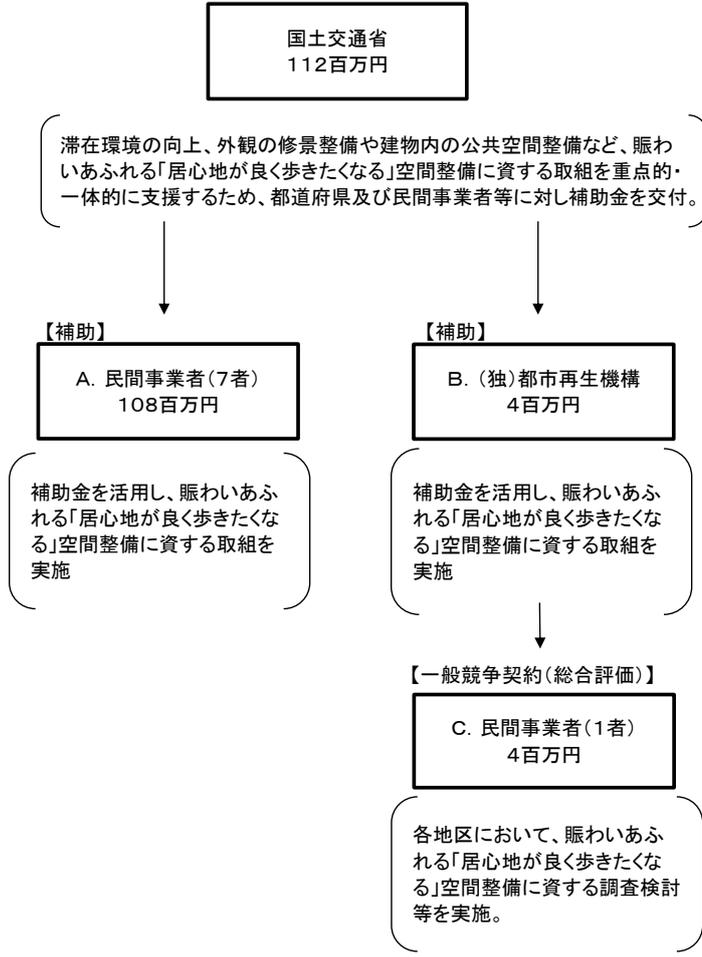
事業名	まちなかウォーカブル推進事業			担当部局庁	都市局		作成責任者		
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	街路交通施設課		課長 荒川 辰雄		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	都市再生推進事業制度要綱・交付要綱 (令和4年4月1日 最終改正)				
主要政策・施策				主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	都市・居住機能の集積が進むまちなかにおいて、まちのエンジンとなる内外の人材を惹きつけ、車中心から人中心の豊かな生活の場の創出に向け、街路・公園・広場等の既存ストックの修復・利活用を重点的・一体的に支援し、「居心地が良く歩きたくなる」空間を整備する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	まちなかウォーカブル区域(市区町村が設定する概ね1km程度の歩ける範囲のエリア)において、都道府県及び民間事業者等を対象に、街路の広場化や公共空間の芝生化等のウォーカブルな空間整備、沿道施設の1階部分の開放によるアイレベルの刷新、社会実験の実施やデザイン検討などによる滞在環境の向上、外観の修景整備や建物内の公共空間整備など、賑わいあふれる「居心地が良く歩きたくなる」空間整備に資する取組を重点的・一体的に支援する(補助率:1/2)。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	150	200	350			
		補正予算	-	-	20	-			
		前年度から繰越し	-	-	55	163			
		翌年度へ繰越し	-	▲ 55	▲ 163	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	95	112	513	0		
	執行額		-	32	112				
	執行率 (%)		-	34%	100%				
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		#DIV/0!	21%	51%				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	(目)都市再生推進事業費補助		350						
	計		350	0					
活動内容 (アクティビティ)	本事業を活用し、都道府県・民間事業者等が、既存建物の改修による公共空間の整備や街路空間を活用した社会実験等、既存ストックの修復・利活用によるウォーカブル空間の整備を実施								
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	補助事業実施箇所(地区)数を増加させる	補助事業実施箇所(地区)数	活動実績	箇所	-	5	15	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	施行実績額(百万円)(X) /補助事業実施箇所(地区)数(Y)		単位当たり コスト	百万円	-	6.4	7.5	28.5	
			計算式	X/Y	-	32/5	112/15	513/18	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度
	補助事業実施箇所(地区)において、ウォーカブル推進計画に定められた目標を定量化する指標が改善傾向にある地区の割合を令和4年度までに100%とする。	補助事業実施箇所(地区)(A)において、ウォーカブル推進計画に定められた目標を定量化する指標が改善傾向にある地区の割合を令和4年度までに100%とする。	成果実績	%	-	60	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	100
			達成度	%	-	60	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	国土交通省都市局調べ								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 7 年度
	都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定した市町村数を令和7年度までに100とする。	都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定した市町村数		成果実績	市区町村数	-	31	53
		目標値	市区町村数	-	-	-	-	100
		達成度	%	-	31	53	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	国土交通省都市局調べ							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	
政策評価、 新経済・ 財政再生計画 との関係	政策	7 都市再生・地域再生の推進						
	施策	25 都市再生・地域再生を推進する		政策評価書 URL				
	取組事項	分野:	-					
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:						
		該当箇所						
事業所管部局による点検・改善								
	項目	評価	評価に関する説明					
国費投入の 必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	都市・居住機能が集積するまちなかにおいて、既存ストックの改変による「居心地がよく歩きたくなる」空間(ウォークアブル空間)を形成し、官民によるゆとりと賑わいの創出に取り組むものであり、この趣旨に賛同する地方公共団体(ウォークアブル推進都市)は324団体である。また、新型コロナウイルス感染症拡大を契機とした、オープンスペースや職住近接のニーズの高まりにも対応したまちづくりを推進している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「居心地がよく歩きたくなる」空間を形成するためには、多様な主体が連携し、道路、公園、沿道施設等の既存ストックを修復・利活用を推進する必要があるため、国が重点的・一体的な支援を行う必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、既存ストックの活用に向けた修復・利活用による「居心地がよく歩きたくなる」空間への転換とともに、まちなかりノベーションに必要な基盤整備を実施するものであり、新型コロナウイルス感染症拡大を契機として顕在化した、「まちの過密」を避ける観点からも優先度の高い事業である。					
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	補助対象事業者については、都市再生推進事業制度要綱に基づき選定している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱等による補助率等に基づくものであり、負担関係は妥当である。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	交付要綱等に基づき、事業目的の実現に真に必要な事業に支出している。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	交付要綱等に基づき、各実施主体に対し、適正に支出している。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付要綱等に基づき、事業目的の実現に必要な費目・使途に限定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	年度内に事業完了するよう努めたものの、地域住民との協議に不測の日数を要したこと等の理由による繰越のため、妥当である。						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業者から提出されるウォークアブル推進計画を確認し、真に必要な事業費を精査し、コスト削減等に努めている。						
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定した市町村数は年々増加傾向にあり、目標に向け着実に進展している。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	政策目標の達成に資する事業の実施主体に対し、補助により支援することは効果的である。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初見込みを超える活動実績があった。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物が翌年度以降の事業執行に十分活用されている。					

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号			事業名	
点検・改善結果	点検結果	多様な主体が連携し、「居心地が良く歩きたくなる」空間を形成することは、国民や社会のニーズに合致している。本事業は令和2年度に開始したところであり、今後民間組織による国・地方自治体と連携した取組はさらに進むものと考えられる。引き続き取組を推進することは、これからの効果的・効率的なぎわいあふれるまちなかの形成に寄与するものと考えられる。			
	改善の方向性	引き続き、適切な執行管理に努めるとともに、成果実績の向上に努める。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
アウトカム「補助事業実施箇所(地区)において、ウォークアブル推進計画に定められた目標を定量化する指標が改善傾向にある箇所(地区)(B)の割合(B/A)」の、令和3年度実績については、現在集計中。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
平成27年度					
平成28年度					
平成29年度					
平成30年度					
令和元年度	国土交通省	-	新32	-	0034
令和2年度	国土交通省		新02		0038
令和3年度	2021	国交	20		0331

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.東急建設株式会社			B.独立行政法人都市再生機構		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	都市再生推進事業費補助	都市再生推進事業(工事等)	51	都市再生推進事業費補助	都市再生推進事業(調査等)	3.8
	計		51	計		3.8
	C.ランドブレイン株式会社			D.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	都市再生推進事業費補助	都市再生推進事業(調査等)	3.8			
	計		3.8	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.民間事業者

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東急建設株式会社	9011001040166	都市再生推進事業(工事等)	51	補助金等交付	-	-	-
2	豊田まちづくり株式会社	7180301018915	都市再生推進事業(工事等)	16	補助金等交付	-	-	-
3	むつまじり株式会社	7420001013778	都市再生推進事業(工事等)	15	補助金等交付	-	-	-
4	株式会社町田まちづくり公社	9012301002392	都市再生推進事業(調査等)	14.6	補助金等交付	-	-	-
5	一般社団法人前橋デザインコミッション	2070005009664	都市再生推進事業(調査等)	8.5	補助金等交付	-	-	-
6	一般社団法人ミナミ御堂筋の会	7120005022376	都市再生推進事業(調査等)	1.5	補助金等交付	-	-	-
7	NPO法人御堂筋・長堀21世紀の会	5120005007924	都市再生推進事業(調査等)	1.3	補助金等交付	-	-	-

B.(独)都市再生機構

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人都市再生機構	1020005005090	都市再生推進事業(調査等)	3.8	補助金等交付	-	-	-

C.民間事業者

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ランドブレイン株式会社	9010001031943	都市再生推進事業(調査等)	3.8	一般競争契約(総合評価)	2	77.1%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	